

小地域福祉活動を考える（その3・今と昔の地域）

情報化社会といわれる現代社会、地域の方々との交流が以前に比べて希薄となり、一人で生活する部分が多くなってきているように思えます。

たとえば……子育てで悩んでいて、どうしていいかわからない。

そこでインターネットで情報を入手し、ネット上の掲示板で悩みを相談する。



昔なら、「子育てのことなら隣のおばさんに聞いたらく分かる」とか、「家のちよとした修理なら向かいのおじさんに頼んだらいいよ」とかお互い助け合いのルールみたいなのがあったと思います。

皆さんは、上記の「たごえ」のような状況についてどう感じますか？ ちよっと寂しくありませんか？

これはあくまでも一例で、高齢者の問題に関することや、障がい者の問題に関することなど、地域で生活するみなさんにおいて、これに似たことが多くあると思います。

現代は、インターネットの普及により一人でも生活できる部分が多くなってきました。しかし誰とも交流せず生活していることが、今の多くの社会問題を発生させているのではないのでしょうか？

時代を逆行しようということではありませんが、昔ながらのよい部分を思い出し、「困ったときはお互いさま」、「向こう三軒両隣」を復活させ、地域で支えあう活動（小地域ネットワークづくり）を進めてみませんか！

この記事をご覧になって、

「私どもの地域でも福祉問題があり困っている」、「私どもの地域でも地域の連帯感を強めたい」



と思われる地域の方々、福智町社会福祉協議会・地域福祉課までご連絡下さい。

職員が出向いて、地域のよりあい等で小地域ネットワークづくりについての説明をさせていただき、のちに区内組織に福祉部会・福祉委員さんを設置し、地域福祉を推進していただきたいと思います。

●福智町社会福祉協議会・地域福祉課

電話 22-3778